

三里塚・ジエト争闘貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！



動労千葉第二回（通算第七回）団結祭典は、十一月二日、千葉鐵道学園グランドにおいて組合員・家族五〇三名が結集し盛大に開催された。

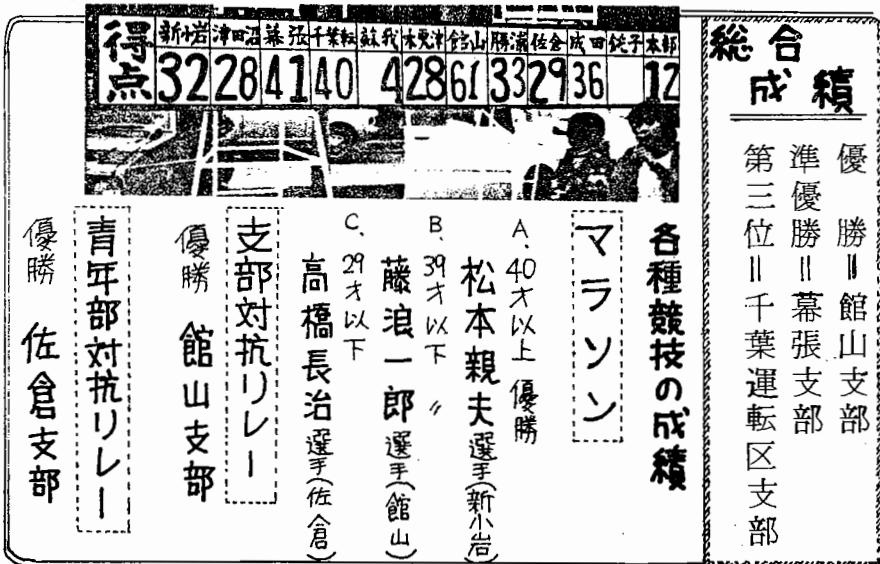
紺碧の空、大きくなためく鉄輪旗、続々と結集してくる組合員・家族の皆さんの顔は明るく、ついに昨年度を大巾に上まわる参加人数となつた。これはまさに、五五・一〇、一一・一と息つく間もない攻撃を一つ一つ粉碎しかつとってきた自信と確信が、この祭典の盛況を呈したといえる。

九時二十分、吉岡執行委員の司会により、篠塚事務局長の開会宣言、続いて前年度優勝の勝浦支部、鈴木昭司君より力強い選手宣誓をうけ、関川実行委員長のあいさつでは、「国鉄当局は、十一月一日運用合理化を政治生命をかけ実施すると言つたが、我々は、全部あげてこれを粉碎した。また、昨年動労千葉が結成され、ここに祭典が開催できるのも家族の方々の御支援を見逃すことは出来ない。」といふあいさつがされ、準備体操、そして年令別競技のピストルをかわぎりに盛り沢山の



人気の的=恒例の「買い物競走」。にぎやかな歓声をあげ、三里塚の大根・白菜・いも等々ひっさげてお母さんが走る…。

プログラムを、和氣あいあいのうちに楽しんだ。また、奥さん達の人気の的は、例年の如く三里塚の野菜であり、これは三里塚芝山連合空港反対同盟より寄贈されたもので何よりも最高のお土産となつた。



昼食後の応援合戦

チビッコ軍団大活躍



お父さんに負けず、家族会もガンバレゾ！(勝浦支部 応援団)

各支部ともチビッコ軍団を中心に趣向をこらした熱演には全体が注目し、われんばかりの拍手と声援がおくられ食後のすばらしい消化剤となつた。

優勝した館山は、女子チビッコ十四名、揃いの花笠で「観光の館山」らしい華やかさを表現したと思うと突如現われたるは吉野君のドジョウすくいにやんやの喝采。

準優勝は勝浦支部、館山に負けない熱演、男"女"チビッコ二人によるドリフターズ顔負の「ヒゲダンス」、さらには清水次郎長に変身、しめくくりに家族組合の運用合理化反対のスローガンと多彩、審査員を困らせた。

第三位は千葉転、なんと一九人のチビッコ軍団、色とりどりのうちわを手に、支部全体が一丸となつた応援ぶりが光った。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

祭典

館山支部優勝

80.11.6
No. 575

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二二五八九九・(公衆)四三二二七二〇七

日刊動労千葉